

授業改善推進プラン〈美術〉

西東京市立ひばりが丘中学校

1 指導目標

表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、美術の創造活動の喜びを味わい美術を愛好する心情を育てるとともに、感性を豊かにし、美術の基礎的な能力を伸ばし、美術文化についての理解を深め豊かな情操を養う。

2 平成26年度 1学期における考察と課題

| 学 年 | 考察 | 課題 |
|------|--|-----------------------------------|
| 1 学年 | 基本的な技能が身につけていない生徒がみられる。 | 領域をバランスよく配置し、多くの表現技法を学ばせる。 |
| 2 学年 | 一人ひとりが集中し、自分なりの表現を生み出そうとする姿勢はあるが、自己開示し、他者との交流の中から生み出すことに抵抗がある。 | お互いの良さや美しさ、表現方法などを学びあう活動を取り入れる。 |
| 3 学年 | 発想・構想は豊かに行えるが、創造的に効果的に表現する技能が追いつかず、形にならない生徒が見られる。 | 多様な作品を鑑賞し、それぞれの良さを感じ取る活動を取り入れる。 |
| 全学年 | じっくりと観察して描く活動や、試行錯誤しながら自分なりの表現を見つけ出すことが弱い傾向がある。 | 授業内鑑賞を取り入れ、発想・構想や創造的な技能について気付かせる。 |

3 平成26年度 2学期以降へ向けての改善のポイント

| 学 年 | 改善のポイント |
|------|---|
| 1 学年 | 豊かな発想・構想の能力を、表現活動の喜びに結びつけるために、各領域をバランスよく配置し、表現のための土台となる様々な技法や見方を学ばせる。 |
| 2 学年 | お互いの良さや美しさ、表現方法などを学びあう活動を行うため、授業内鑑賞を取り入れ多様な表現を学びとる。 |
| 3 学年 | 身近な世界から異なる文化まで幅広く親しみ、よさや美しさを感じ取りし、それぞれの良さ表現する活動を取り入れる。 |
| 全学年 | 膨らませた思いから主体的に取捨選択し、自分ならではの美を自信を持って選択できるよう、多様な価値観に触れる活動を表現・鑑賞両方の面から行う。 |

4 評価の工夫

| 観点 | 観点の項目 | 評価内容 |
|------------------|---|---------------------------|
| 美術への関心 ・意欲・態度 | <ul style="list-style-type: none"> 目標を持って創作活動に取り組み、制作の喜びを味わい、美術を愛好しているか。 よりよい表現を目指して、試行錯誤を重ねた工夫をしているか。 | ワークシート・持ち物・提出物・発言・授業態度 |
| 発想や構想の能力 | <ul style="list-style-type: none"> 材料・用具の特性を生かした表現、用途に応じた表現の構想を練ることができたか。 観察による構想、独創的な発想をすることができたか。 | ワークシート・提出物・アイディアスケッチ・定期考査 |
| 発想や構想の能力 | <ul style="list-style-type: none"> 材料や用具の使い方を理解し、それを効果的に生かして表現することができたか。 表現意図に応じて、表現方法を自分らしく工夫して制作できたか。 | ワークシート・提出物・アイディアスケッチ・定期考査 |
| 鑑賞の能力 | <ul style="list-style-type: none"> さまざまな自然、美術作品、生徒作品から、美しさや多様な表現のよさを感じ取ることができたか。 生活を心豊かにする美術の役割について、考えることができたか。 | ワークシート・提出物・アイディアスケッチ・定期考査 |